

2001年度 決算説明資料

2002年 5月

- 2001年度 連結決算の概要 →P3
- 連結セグメント別の状況 →P5
- 貸借対照表 →P13
- 有利子負債・フリーキャッシュフロー →P14
- 研究開発費・減価償却費・設備投資 →P15
- 2001年度 単独決算の概要 →P16
- 2002年度 通期の業績見通し →P17

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまぐ経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

2001年度 連結決算の概要

億円)

	'01年度	'00年度	増減
受 注 高	24,249	26,403	△ 2,153
売 上 高	28,639	30,450	△ 1,810
営 業 損 益	786	748	37
経 常 損 益	679	632	47
特 別 損 益	△ 199	△ 683	483
税引前損益	480	△ 51	531
当年度損益	264	△ 203	467

特別損益(△199)の内訳 :投資有価証券等評価損△129
 事業改善・再構築特別対策費△125
 投資有価証券売却益+26、固定資産売却益+28

営業損益 増減要因 +37億円

- 売上総利益 +322億円<内、単独 +324>
 - 為替の影響 +339億円
ドル@¥114(FY'00)→@¥122 他
 - 売上減少の影響△248億円
 - コストダウン + 231億円 (含. 固定費削減)
- 販売費・一般管理費△285億円
<内、単独△185>
 - R&D・開発費等増加 △95億円
原動機関連、システム改革投資関連 他)
 - 貸倒関連 △ 42億円
 - 販売費等増加 △148億円
(原動機米国子会社、引合対応強化)

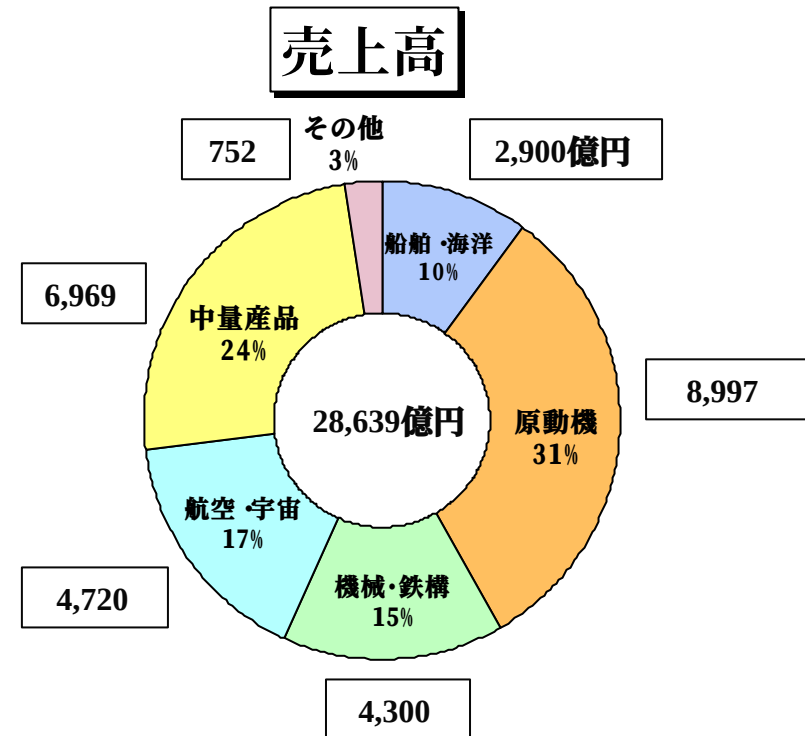
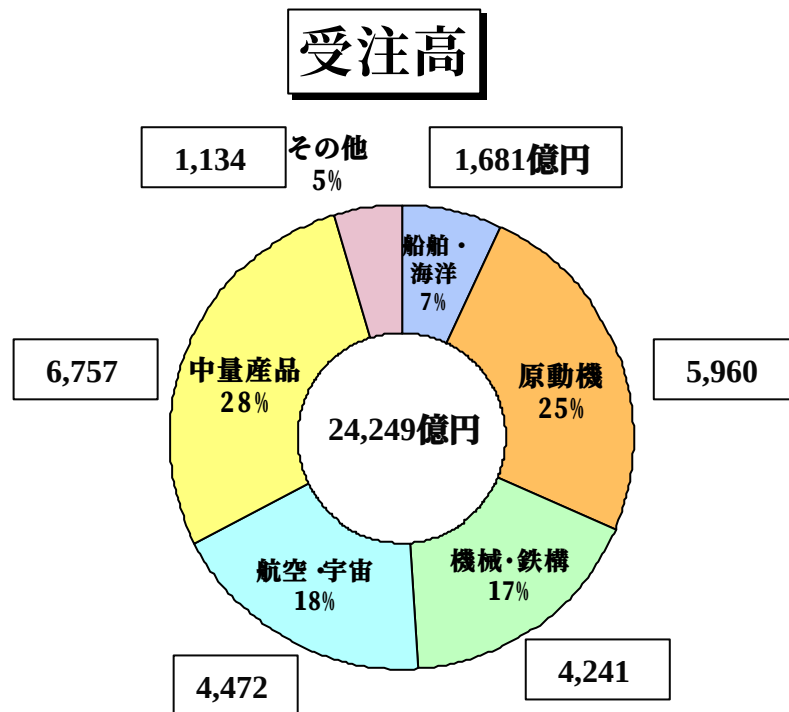
営業損益増減 +37億円<内、単独+139>

税引前損益 増減要因+531億円

- 営業利益増加 + 37億円
(左記の通り)
- 営業外損益 + 10億円
- 特別損益 +483億円
 - 三菱自動車 持分損益 + 427億円
 - その他 + 56億円

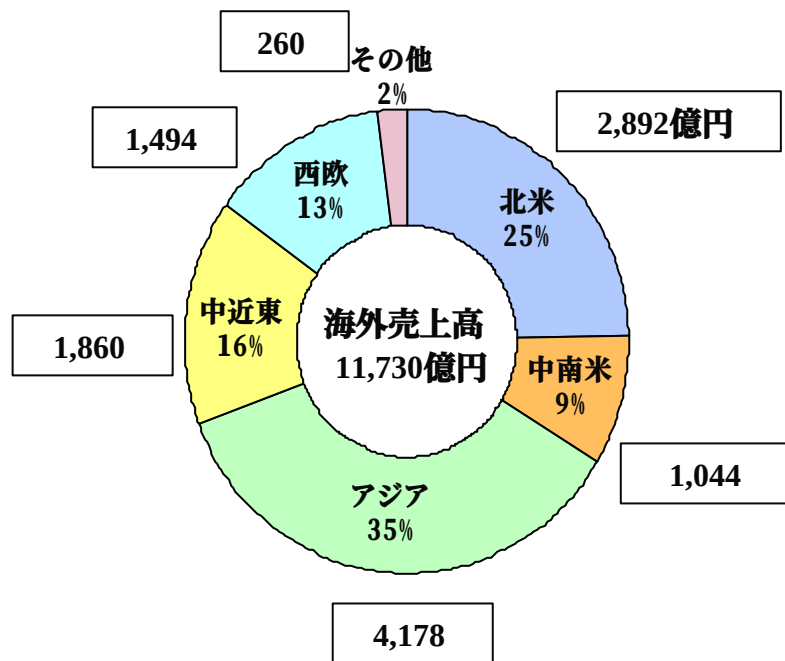
税引前損益増減 +531億円

連結セグメント別の状況(2001年度実績)

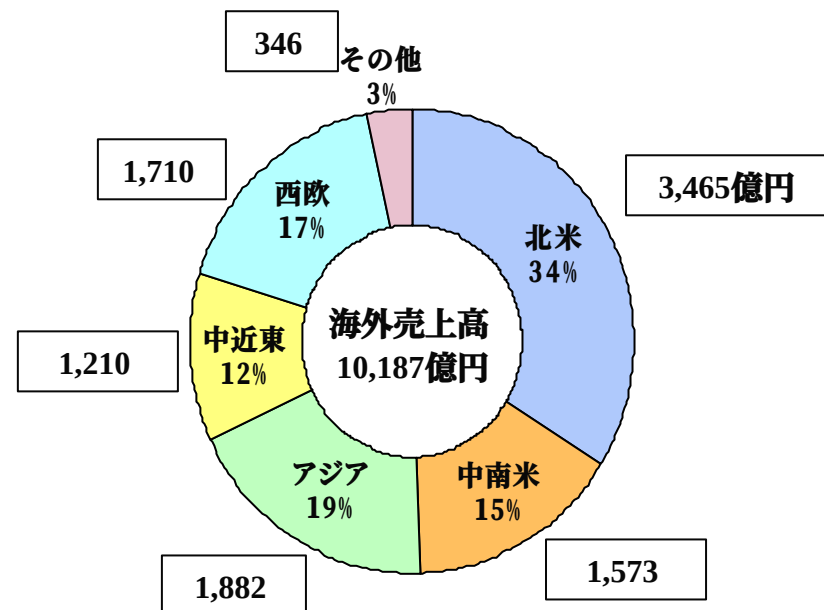


海外地域別連結売上高

2000年度実績



2001年度実績



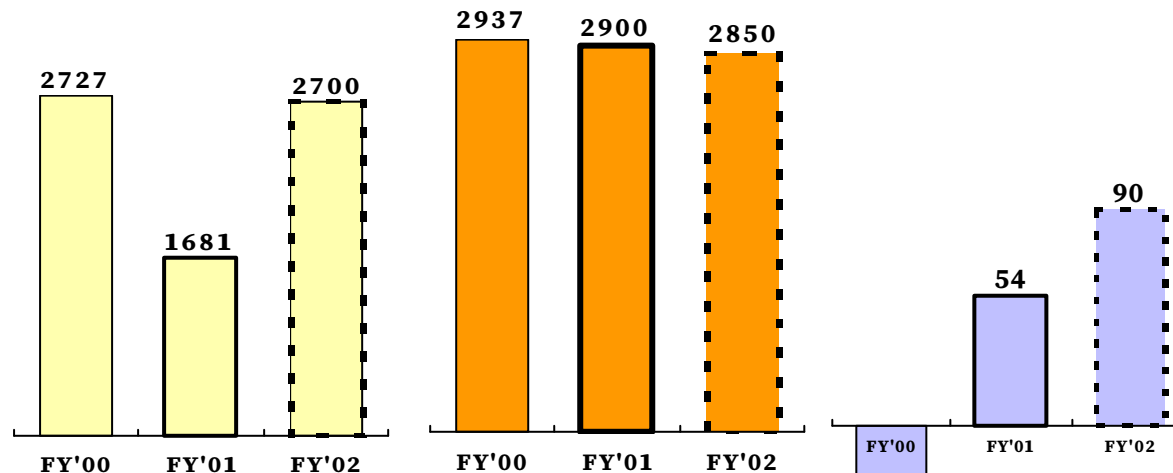
船舶・海洋

(億円)

受注高

売上高

営業損益



(輸出比率 (単独))

45.9% 56.9%

(隻数 (単独))

22隻 (814KGT) 14隻 (558KGT)

51.1% 52.8%

19隻 (1247KGT) 17隻 (574KGT)

△41

【事業環境・受注】

- ・新造船発注量は世界的不景気による需要低迷でペースダウン (LNG船他で発注計画繰延べ)
- ・LNG船3隻、LPG船3隻他、計14隻受注 (手持 40隻、内 LNG船 10隻)

【売上/損益】

- ・引渡隻数減で減収となったが、円安 米ドル) 及びコスト改善で黒字転換

【トピックス】

- ・人員削減等固定費圧縮を継続 (事業人員) 5,730→5,610→5,380→5,160人 ('99/4) ('00/4) ('01/4) ('02/4)

< FY'02業績見通し:受注 / 売上 / 損益 >

FY'02見通し: 2700 / 2850 / 90

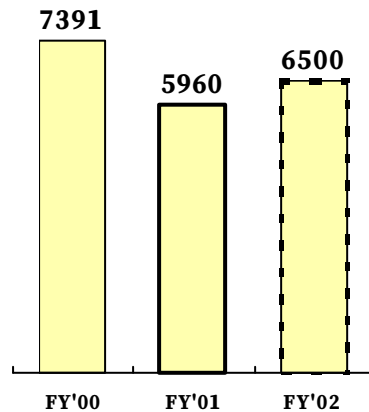
FY'01実績 : 1681 / 2900 / 54

(中間見通し 2300 / 2750 / 40)

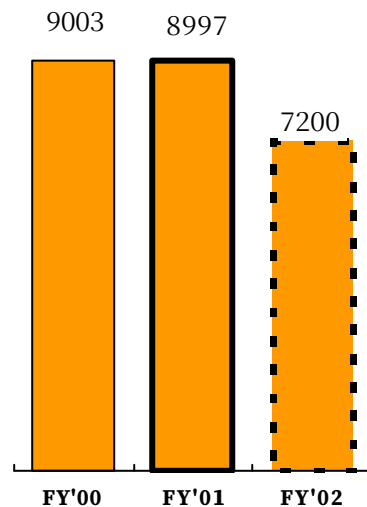
原動機

(億円)

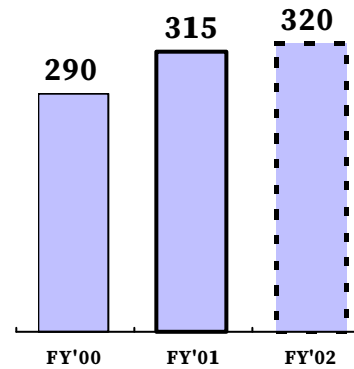
受注高



売上高



営業損益



(ガスタービン手持受注台数 (単独))

67台	59台
(内北米向)	
15台	15台

(FY'01 対 FY'00増減(単独))

	増減	売上高
国内事業用	+131	(3693)
国内産業用	+662	(1245)
輸出	△1143	(3261)

[事業環境・受注]

- ・国内は電力需要・民間設備投資減少を受け、事業用・産業用とも引続き厳しい市場環境
- ・海外はテロ影響等による米国経済減速で案件繰延べあり、供給力過剰の環境下、競争激化
- ・プラント受注減少及び輸出ガスタービンの発注繰延べ等の影響で、前年度比減少

[売上/損益]

- ・輸出プラント減少したものの売上はほぼ横這い、採算改善により増益
(損失引当取崩 402億円)

[トピックス]

- ・米国・風車市場へ本格参入
(2002.3 米国に合弁会社設立)
- ・原子力 : 仏A/S市場参入目指し仏 COMEX社と提携

< FY'02業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'02見通し : 6500 / 7200 / 320

FY'01実績 : 5960 / 8997 / 315

(中間見通し 6900 / 8600 / 300)

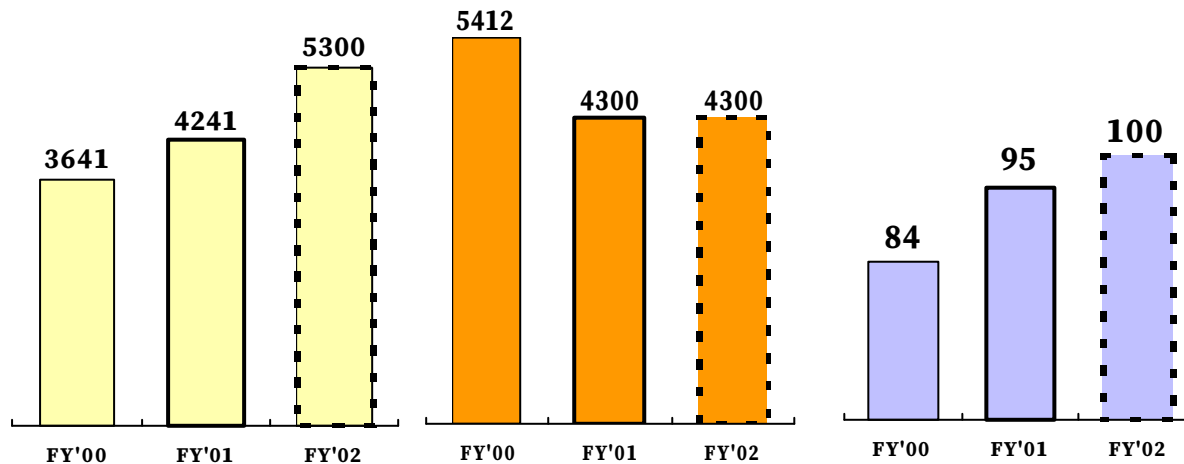
機械・鉄構

(億円)

受注高

売上高

営業損益



(FY'01 対 FY'00 増減 (単独))

	受注増減	受注高
環境装置	△ 43	(689)
一般機械	+ 199	(528)
鉄構	+ 599	(1290)

売上増減<売上高>

	売上増減	売上高
環境装置	△253	(1077)
化学プラント	△525	(486)
製鉄機械	△203	(74)

[事業環境・受注]

- 公共投資予算の縮減等により、案件減少・先送り傾向
- 民間設備投資も低迷しているが、プラントの受注等により前年度比増加

[売上/損益]

- 化学プラント・国内環境装置等の減少により減収となったが、輸出工事の採算改善によって増益 損失引当取崩 39億円)

[トピックス]

- エンジニアリング会社と連携し、新エネルギー分野 (GTL、DME等) に取組み
- 製鉄機械
 圧延設備:2002年度より日立との合弁会社「三菱日立製鉄機械(株)」に事業移管
 連続鋳造設備:新日鐵と協業開始

<FY'02業績見通し:受注/売上/損益>

FY'02見通し: 5300 / 4300 / 100

FY'01 実績 : 4241 / 4300 / 95
 (中間見通し 5200 / 4500 / 130)

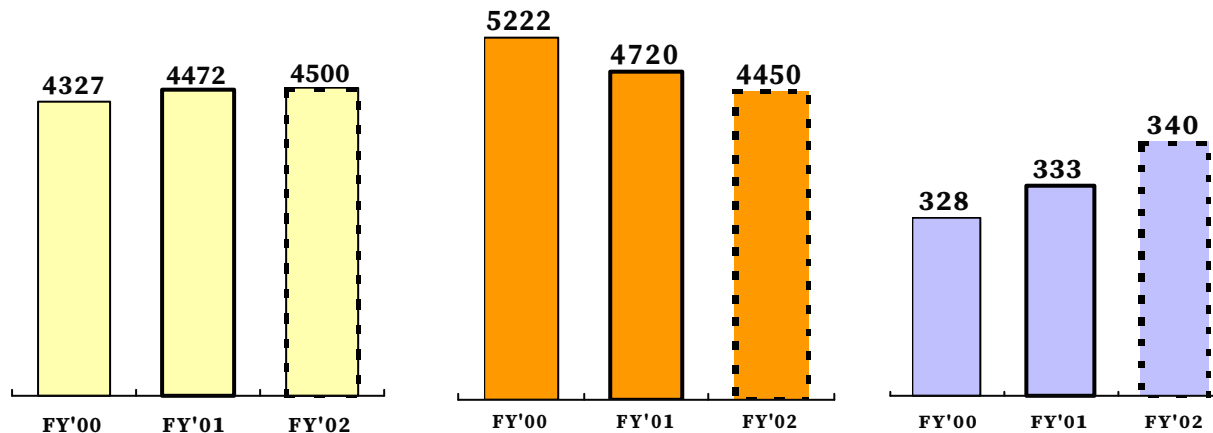
航空・宇宙

(億円)

受注高

売上高

営業損益



<引渡機数>

B777 : 61機 61機
F-2 : 18機 10機

[事業環境・受注]

- ・防衛関係は14年度正面装備予算ではほぼ前年度並水準を確保
- ・前年度比、F-2の受注機数増等により、部門全体では増加

[売上/損益]

- ・防衛庁向F-2の引渡が前年度に集中した影響で減収となったが、民間航空機の生産安定と円安(米ドル)効果で増益

[トピックス]

- ・2001.12 P&W社PW6000エンジン開発に参画
- ・2002.2 ホンダ・デルタ社のビジネスジェット機グローバル5000プログラムに参画
- ・2002.2 H II A2号機打上げ成功
- ・2002.3 防衛装備品の総合運用シミュレーションのため、ITラボラトリを設置

<FY'02業績見通し:受注 / 売上 / 損益>

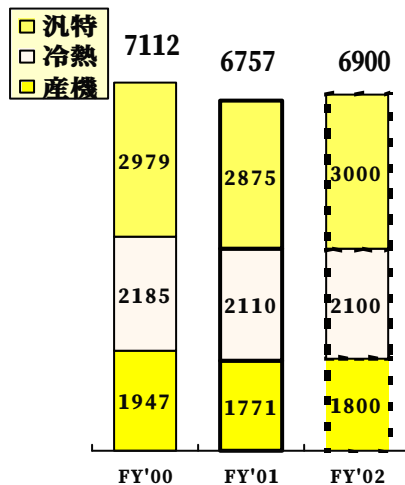
FY'02見通し : 4500 / 4450 / 340

FY'01 実績 : 4472 / 4720 / 333
(中間見通し : 4200 / 4650 / 330)

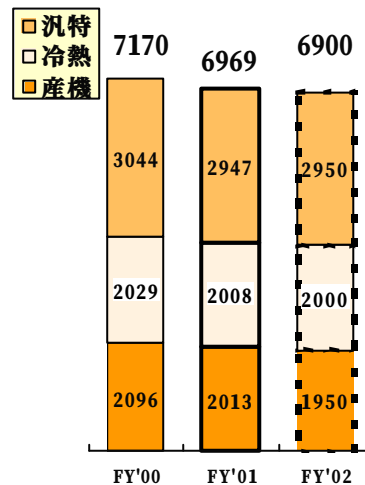
中量産品

(億円)

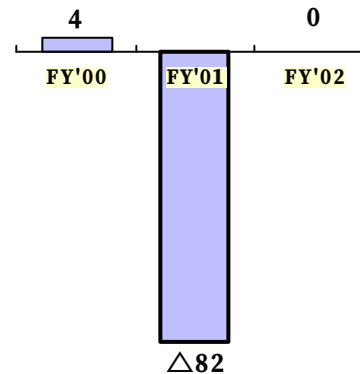
受注高



売上高



営業損益



[事業環境・受注]

- 世界的な景気低迷で国内・海外とも厳しい市場環境
- 産業機械・冷熱・汎用機、それぞれで前年度より受注減少

[売上/損益]

- 冷熱製品は米国生産子会社のコスト管理の失敗や国内販売戦略(仕様)の誤りにより赤字へ
- 産業機械は世界的な景気低迷により販売不振が続く

[トピックス]

- 工作機械 :重点機種絞り込み経営資源集中
- 汎用機 :分散型電源市場への対応
ターボ増産・事業拡大の推進

<FY'02業績見通し:受注 / 売上 / 損益>

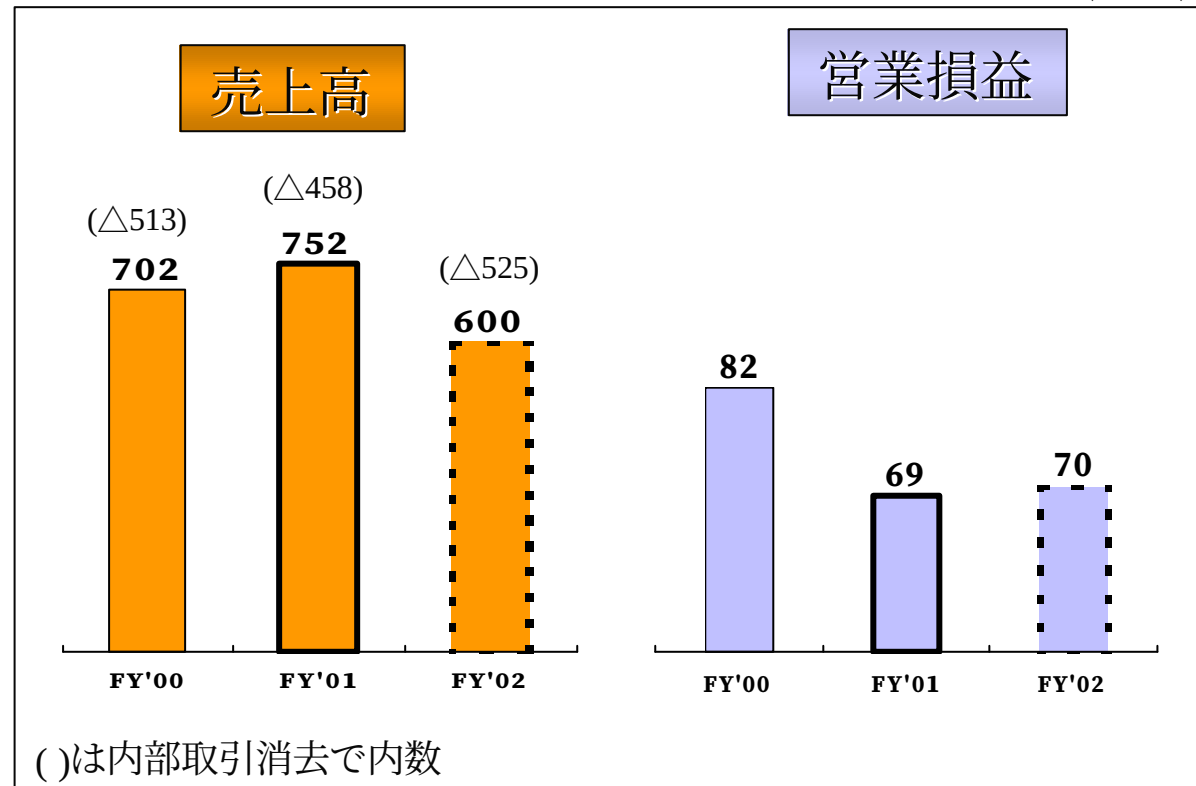
FY'02見通し : 6900 / 6900 / 0

FY'01 実績 : 6757 / 6969 / △82

(中間見通し : 6700 / 7050 / △70)

その他

(億円)



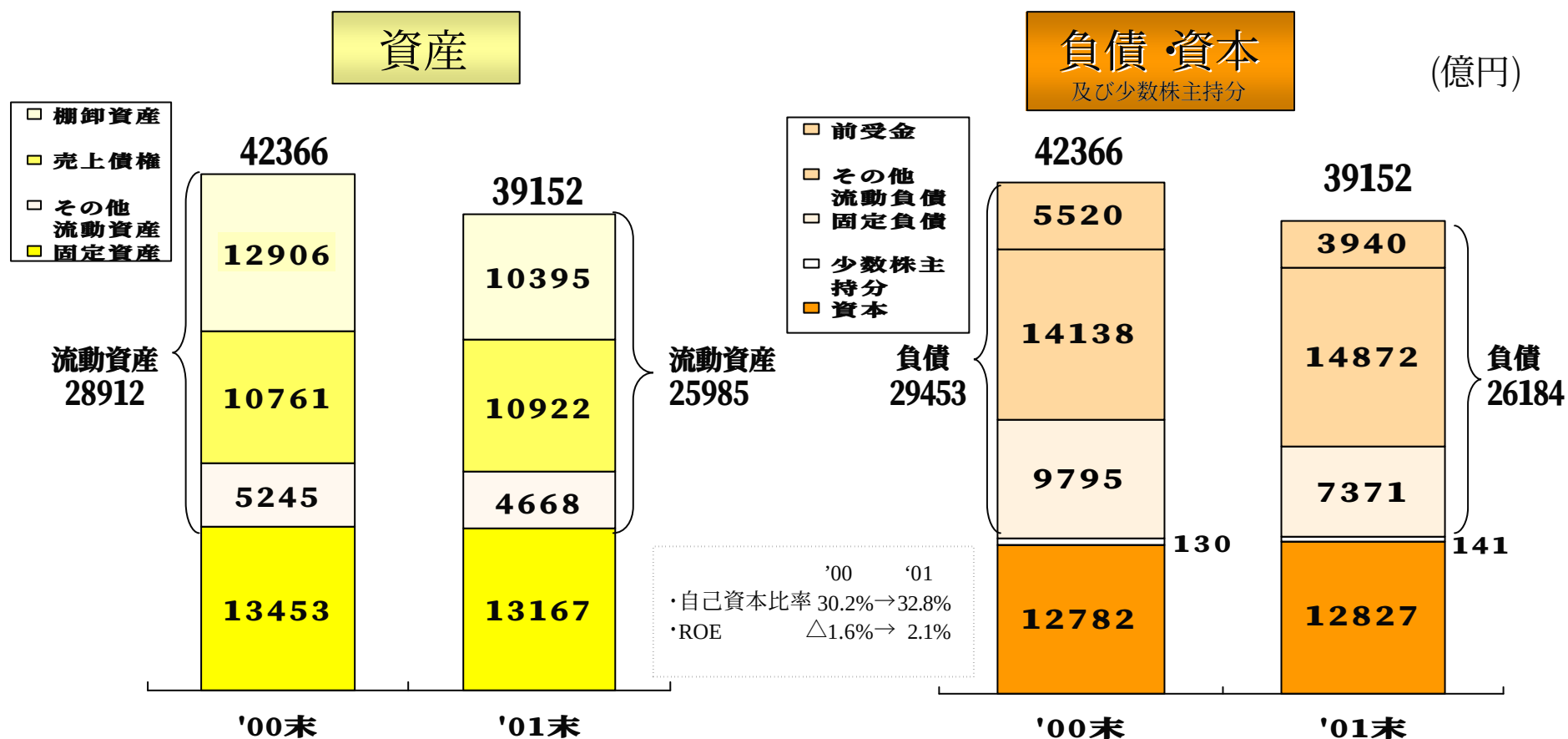
- ・建築・不動産
- ・情報・通信サービス
- 他

<FY'02業績見通し：売上 / 損益>

FY'02見通し：600 / 70

FY'01 実績 : 752 / 69
(中間見通し 950 / 70)

貸借対照表



資産増減(△3213)

流動資産△2927(棚卸資産△2511、有価証券△731 他)
 固定資産△286(投資有価証券△256 他)

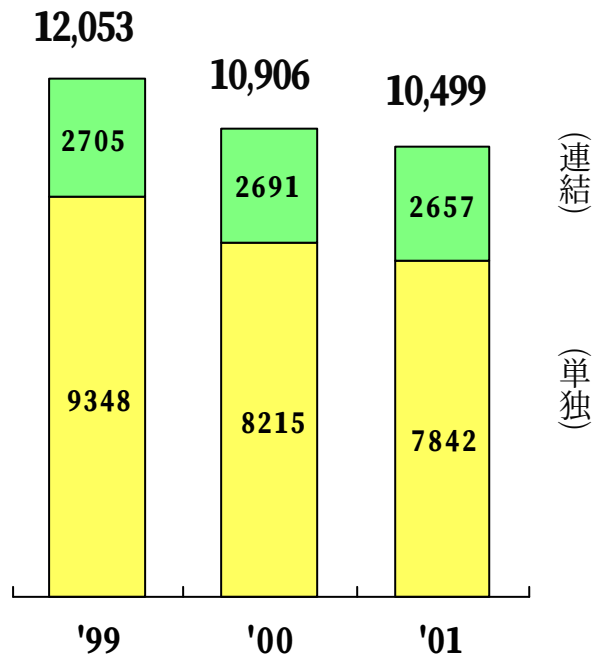
負債増減(△3269):流動負債△845(前受金△1579 他)

固定負債△2423

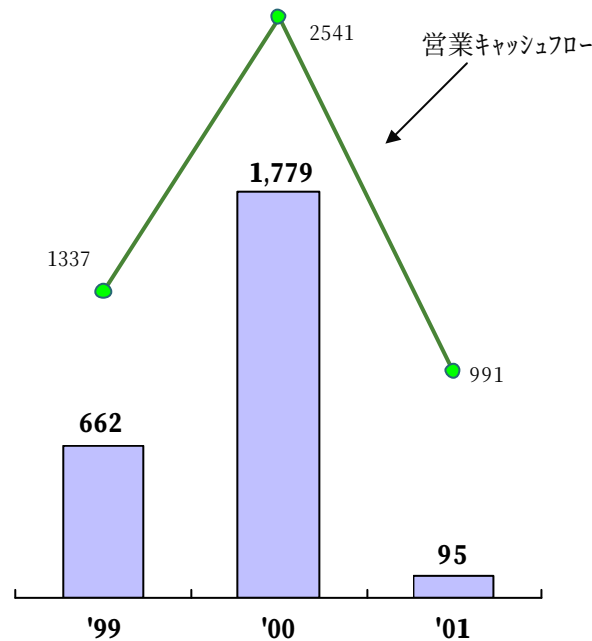
資本増減(+44):連結剰余金+121、評価差額金△150 他

有利子負債・フリーキャッシュフロー

有利子負債 (億円)



フリーキャッシュフロー (億円)

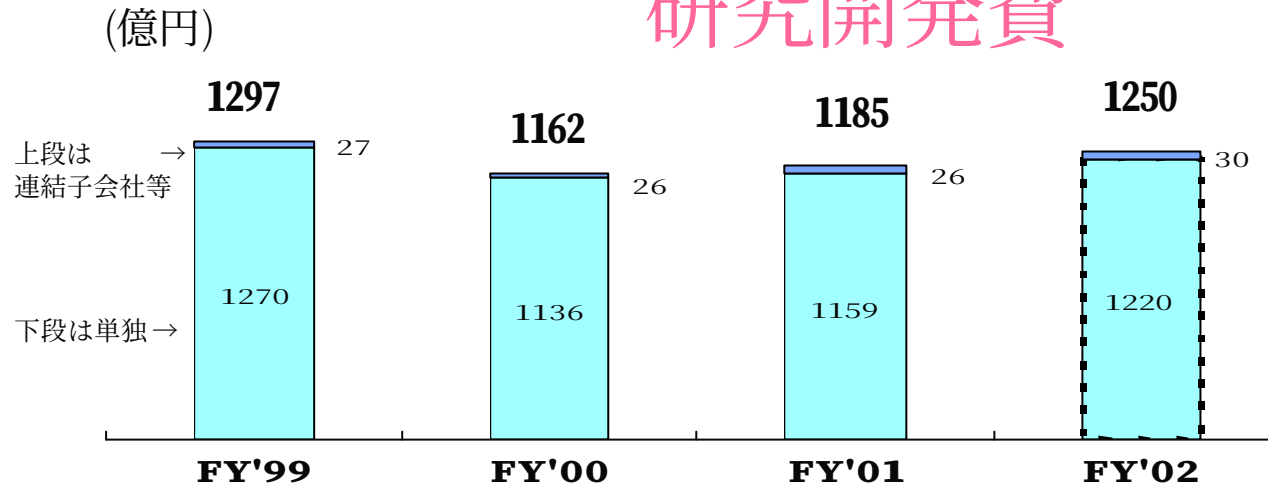


‘01年度の概要

• 営業キャッシュフローは991億円のプラスとなり、これから投資キャッシュフロー(△895億円)を差し引いたフリーキャッシュフローも95億円のプラスとなった。

• これにより借入金の返済を推し進め、‘00末より有利子負債を△406億円圧縮した。

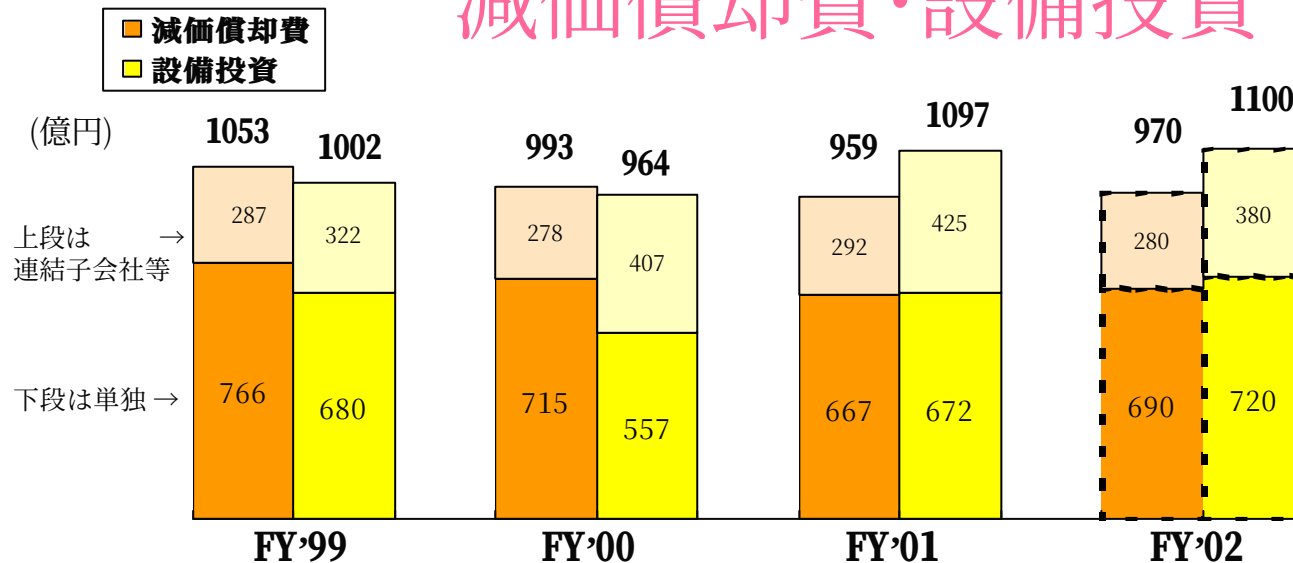
研究開発費



・主力分野を中心に積極的に投資(増加)

(原動機)
 ・H形ガスタービン
 ・太陽電池
 ・新型軽水炉 他

減価償却費・設備投資



・主力製品の生産設備を拡充

・減価償却費を上回る設備投資を実施

(原動機)
 ・ガスタービン高温部品増産対応
 ・太陽電池製造設備 他

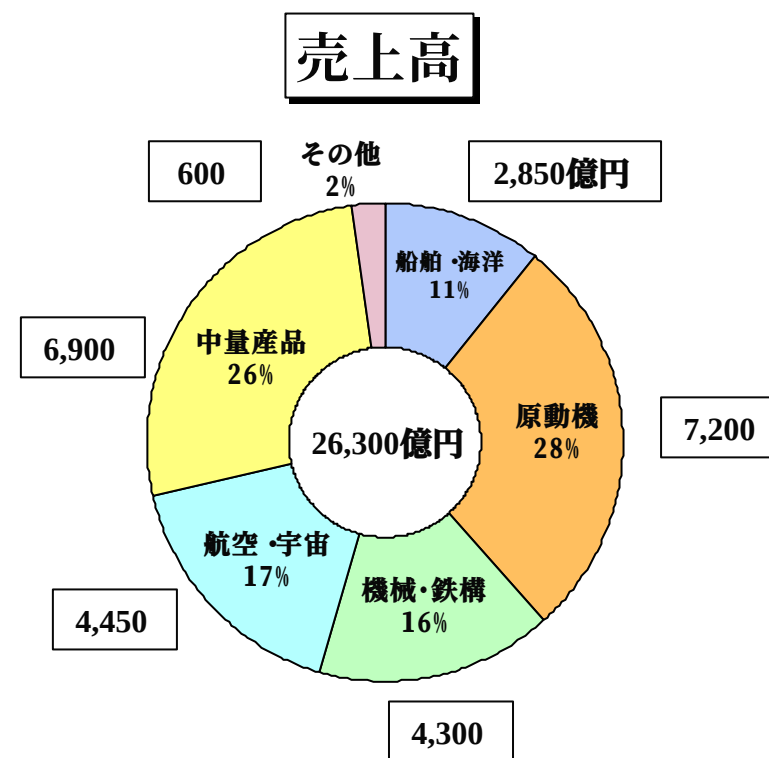
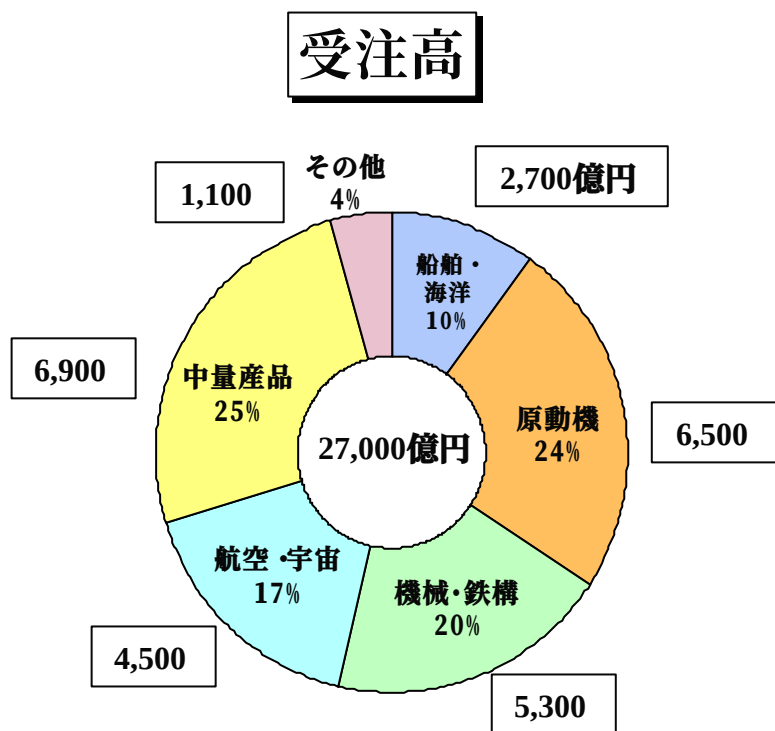
2001年度 単独決算の概要

億円)

	'01年度	'00年度	増減
受 注 高	19,704	22,138	△ 2,433
売 上 高	23,886	26,377	△ 2,490
営 業 損 益	668	528	139
経 常 損 益	594	465	129
特 別 損 益	△ 260	△ 220	△ 39
税引前損益	334	244	89
当年度損益	224	150	73

特別損益(△260)の内訳
 投資有価証券等評価損△141
 事業改善・再構築特別対策費△185
 投資有価証券売却益+26、固定資産売却益+40

連結セグメント別・2002年度見通し



2002年度 通期の業績見通し(1)

	億円)		
(連結)	'01実績	'02見通し	増減
受 注 高	24,249	27,000	2,751
売 上 高	28,639	26,300	△ 2,339
営 業 損 益	786	920	134
経 常 損 益	679	800	121
税引前損益	480	800	320
当年度損益	264	450	186

為替レートは 1ドル=@ ¥ 125, 1ユーロ=@ ¥ 115の前提 (未確定32億ドル, 3億ユーロ)

<セグメント別増減内訳> 受注高 (+ 2751) : 機 鉄+1059、船海+1019、原動機+540、中量産品+143 他

売上高 (△ 2339) : 原動機△1797、航空宇宙△270 他

営業損益(+ 134) : 中量産品+82、船海+36 他

* '02年度より三菱自動車(株)については持分法適用範囲から除外予定、上記見通し損益に含めておりません

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまぐ経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

2002年度 通期の業績見通し(2)

	億円)		
(単独)	'01実績	'02見通し	増減
受 注 高	19,704	23,000	3,296
売 上 高	23,886	22,000	△ 1,886
営 業 損 益	668	810	142
経 常 損 益	594	700	106
税引前損益	334	700	366
当年度損益	224	400	176

配当予想 :1株当たり年間6円 (中間3円、期末3円)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまぐ経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。